

海況速報（クロロフィルa分布）

平成29年8月28日

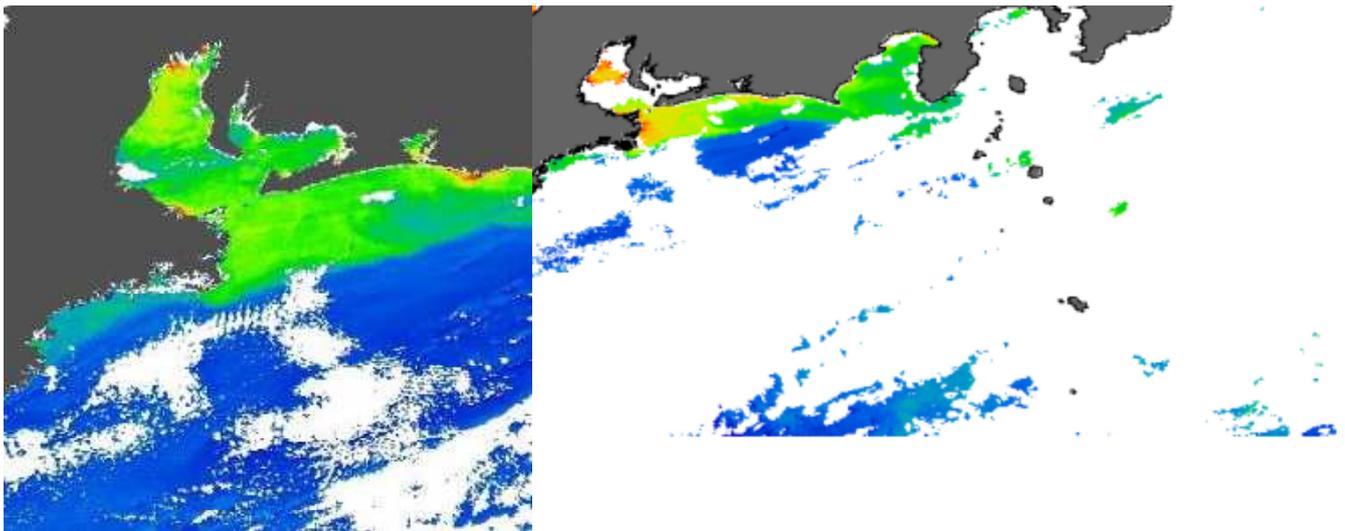
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

8月27日の人工衛星クロロフィルa画像を見ると、クロロフィルa濃度は、内湾域、湾口域、渥美半島沿岸で高くなっています。現在、渥美外海には黒潮から暖水が流入しているため、沖合域ではクロロフィルa濃度が低くなっています。

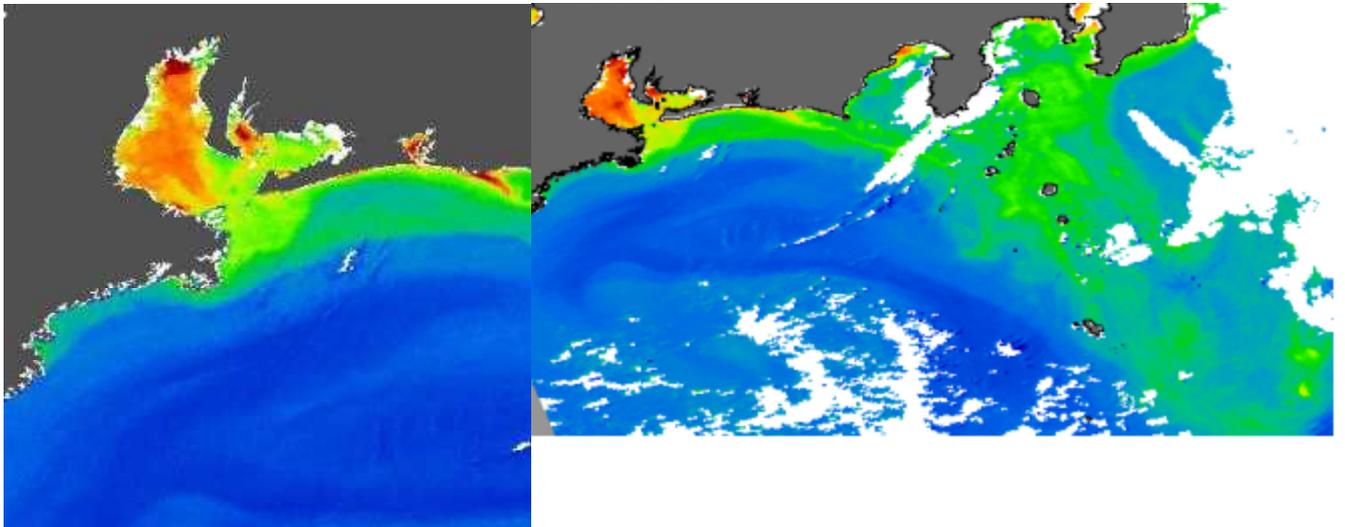
クロロフィルa濃度の経時変化を見ると、伊勢湾、湾口域では7月中旬以降、増加傾向となっています。三河湾では8月上旬から増加傾向に転じており、昨年よりも時期が遅れています。渥美半島沿岸域では7月下旬、渥美外海では7月中旬から増加傾向となっています。

(宇宙航空研究開発機構(JAXA)／東海大学(TSIC/TRIC)提供のMODIS画像)

8月27日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布(広域図は7月20日)



8月24日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布



※画像データによるクロロフィルa濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

海況速報（クロロフィルa濃度の変動）

平成29年8月28日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています（8月27日までのデータ）。

